



# 春日井ロータリークラブ

2020～2021年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

## 「今・必要な良いことをしよう。みんなで」 奉仕目的と目標を明確にしよう。



会 長：和田 了司 例会日：金曜日 12:30～13:30  
 副会長：川瀬 治通 例会場：ホテルプラザ勝川  
 副会長：速水 敬志 事務局：春日井市鳥居松町5-45  
 幹 事：朽本 正樹 TEL：(0568)81-8498  
 FAX：(0568)82-0265  
 E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



ニュートンの林檎の木

2021年3月12日(金)2468回(3月第2例会)

### 本日のプログラム

- |                        |            |        |
|------------------------|------------|--------|
| ・点鐘                    | 司会         | 会場委員会  |
| ・ROTARY SONG           | 会長         | 和田 了司君 |
| ・今月の歌                  | 「奉仕の理想」    |        |
| ・ビジター紹介                | 「春の小川」     |        |
|                        | 会長         | 和田 了司君 |
|                        | 株式会社 KAORI | 水野 香織様 |
| 中部大学国際ESD・SDGsセンター 准教授 |            | 古澤 礼太様 |
| ・委員会報告                 |            |        |
| ・祝福                    | 中部大学 准教授   | 古澤 礼太様 |
| ・卓話                    |            | 西村 輝幸君 |
| ・退会挨拶                  |            | 林田 健児君 |
|                        | 幹事         | 朽本 正樹君 |
| ・幹事報告                  | 会長         | 和田 了司君 |
| ・点鐘                    |            |        |

- |            |            |
|------------|------------|
| 18日 廣瀬 清司君 | 21日 日比 雄将君 |
| 26日 北 健司君  | 26日 速水 敬志君 |

### 夫人誕生日

- |                   |
|-------------------|
| 3月10日 伊藤 一裕君・春美さん |
| 27日 大原 泰昭君・玲子さん   |
| 29日 加藤 久仁明君・晴美さん  |

### アテンダンス表彰

- |             |
|-------------|
| 5ヶ年 小柳出 和文君 |
| 〃 藤川 誠二君    |
| 3ヶ年 友松 英樹君  |

### 先週の記録

会長挨拶 会長 和田 了司君

緊急事態宣言は解除されましたが本日の例会もズーム例会です。

今日が最後のズーム例会となることを願っています。

緊急事態宣言は解除され、街もようやく引きこもりから、活気が戻ってきております。

13日土曜日には『春日井ロータリー旗スポーツ少年団サッカー大会』が牛山運動場で朝9時より準々決勝戦第一試合が開催され14:00には決勝戦が行われます。

時間の取れる方は暖かい服装でロータリキャップを着用して少年たちの奮闘ぶりを応援していただければと思います。翌日の14日は常滑の愛知県国際展示場にて地区大会が開催されます。会場はセントレア飛行場と隣接したところと思いますが、私も初め

### 今月の歌

「春の小川」  
 春の小川は さらさらいくよ  
 岸のすみれや れんげの花に  
 すがたやさしく 色うつくしく  
 咲いているねと ささやきながら

### 会員誕生日

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1日 川瀬 治通君  | 5日 松尾 隆徳君 |
| 26日 村瀬 昌史君 |           |

### 結婚記念

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 3月4日 和田 了司君 | 6日 成瀬 浩康君 |
| 6日 藤川 誠二君   | 16日 梅村 守君 |

### 水と衛生月間

	3月19日(金)	3月26日(金)	4月2日(金)	4月9日(金)
例会予定	休 会	卓話 中部大学春日丘高校 インターアクトクラブ	花見例会 12:30～ 春日井市都市緑化植物園	第10回理事会 11:15～ 卓話 春日井市長 伊藤 太様



いと思います。

1. 健康 についての取り組み事例としては、

2019年7月に、健康経営を推進するための基盤としてCHOおよび健康経営推進協議会を新設すると同時に、当社のアスリート社員で、オリンピックの出場経験を持つ黒須成美をウェルビーイング大使に任命しました。健康経営推進協議会は、東海東京フィナンシャル・ホールディングスならびに東海東京証券のトップマネジメントがメンバーとなっており、経営陣が主体となって健康経営に関わる諸施策の検討や健康増進目標の策定など幅広い取組みを推進しています。昨今は新型コロナウイルスの感染拡大に伴うリモートワークの浸透により、社員の適切な健康管理が以前と比べ難しくなっています。

こうした状況のなか、在宅勤務者の健康維持をサポートする意味でも、ウェルビーイング大使である黒須の他、当社のアスリート社員2名が手軽な運動方法をビデオニュースとして全社員に発信するなど、このような活動・役割が一段と有用になってきたと思います。

当社グループでは2020年5月、グループ全体の企業価値の向上と社会課題の解決を目標として、持株会社内の総合企画グループの管下に「SDGs推進部」を新設しました。引き続き、健康経営推進協議会とSDGs推進部を健康経営推進の基盤として、社員の健康増進を通じた生産性の向上、企業価値の拡大に取り組んでいく方針です。

2020年3月、東海東京フィナンシャル・ホールディングスは、経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定されました。この認定制度は、従業員の健康管理を戦略的な経営投資として捉え、健康経営においてとくに優秀な取組みを推進している企業を認定・表彰するものです。今後も当社グループが継続して認定され、日本企業の健康経営をリードする存在であり続けられるよう、社員の健康を土台とした血の通った組織づくりに注力しています。また、WEBでの健康セミナーの開催やリモートワークに適合した精神面のサポートなど、他社に先駆けた先進的な取組みを通じて、従業員エンゲージメントを基軸とした活力ある企業グループになるよう取り組んでいます。

2. 教育と働き方 についての取り組み事例としては、名古屋、東京の4大学で寄附(提携)講座を開講しています(名古屋・・・愛知大学、愛知学院大学、名古屋学院大学 東京・・・青山学院大学)。

金融リテラシーの修得や資本市場に求められる証券会社の役割、業務を理解してもらうことを目的とし、実際の証券ビジネスを題材にした身近な話題を中心に、半期の講義に当社グループの役員が講師として登壇しています。

また、当社グループの誕生15周年を記念して、2016年に一般財団法人東海東京財団を設立しました。本財団は、地域の将来を担う人材やグローバルに活躍

できる人材の育成、地域社会における国際経済や社会の理解を促す機会の創出、文化・芸術振興等を通じて、地域社会の将来の発展に寄与することを目的としています。その東海東京財団を通じた高校生への海外派遣助成を行っています。

また、育児と介護の支援の充実を図り、「専門性」と「人間性」を重視した新しい人事評価制度を取り入れております。

3. 金融イノベーション についての取り組み事例として、当社は2017年11月のxenodata lab.社への出資を皮切りに、以降、おつり投資やロボアドバイザー等の先進的なデジタル金融サービスを提供するFinTech企業への出資を進めてきました。2019年11月には当社グループ子会社としてマネーコンパス・ジャパンが開業し、家計簿機能やアグリゲーションサービスを備えた資産管理アプリ「おかねのコンパス」の提供を開始しました。そのほか、ブロックチェーンの分野では2019年12月にシンガポールでデジタル証券取引所(iSTOX)を運営するICHX社や国内の暗号資産取引所を運営するHuobi Japan、ブロックチェーンエンジニアを有するHashDashへの出資を通じて協業関係を築いてきました。また、当社は今後、スマホ専門証券の開業を見据えており、次世代のデジタル金融サービス提供を加速させて積極的に取り組んでいく方針です。このような背景のもと2020年8月、当社は経済産業省と東京証券取引所が主催する「DX注目企業2020」に選定されました。

金融ビジネスを取り巻く環境が厳しさを増すなか、資産形成層には老後の暮らしに備えた資産形成に必要な金融サービスの提供が求められています。当社グループでは若年世代との親和性の高いスマートフォンを活用した「おかねのコンパス」・「スマホ専門証券(開業予定)」のFinTechサービスを提供していきます。おかねのコンパスは、貯蓄志向の高い主婦層の関心が高い家計簿機能やアグリゲーションによる資産管理機能を備え、ライフイベントの変化によって潜在ニーズが顕在化された際に投資や保険サービス等への誘導・顧客化を目的としています。また、スマホ専門証券は投資ニーズが顕在化した次世代投資家層に対し、少額投資、ポイント投資などの金融商品・サービスを提供します。

ブロックチェーン技術は、金融業界に留まらずあらゆる業種に活用が広がると言われています。今後、当社関係会社でブロックチェーンエンジニアを有する「HashDash」の最先端な技術力を活かした柔軟かつ低コストのシステム開発体制やFinTech業界におけるネットワークを最大限に活用し、金融はもとより地方創生をはじめさまざまな業務・サービスの変革に取り組んでいきます。

4. 地域経済 についての取り組み事例としては、有力地方銀行(山口FG、横浜銀行、西日本FH、池田泉州HD、ほくほくFG、栃木銀行、十六銀行)との合弁証券設立・連携強化による地方創生の取組をはじめ、災害支援活動として、世界各地で起きた大規

模災害に際し、被災地の皆さまへ義援金をお送りしたり、2020年の新型コロナウイルスの感染拡大により、医療機関で必要とされる医療衛生品が不足している状況を受け、当社グループの防災備蓄品から地域の医療機関などにN95マスク、感染防止用ゴーグル、ビニール手袋を提供いたしました。

また、スポーツ支援といたしましては、日本オリンピック委員会が運営するトップアスリートの就職支援システム「アスナビ」を通じた採用を行い、世界をめざすアスリートの活動を支援しています。これまでに5名のアスリートが入社しています。また、スポーツ文化があふれる地域づくりをめざして、2016年11月に梅村学園・中京大学とアスリート育成事業で連携協力する包括協定を締結し、学生アスリート向けの給付型奨学金制度を創設しました。2020年度は4名の学生アスリートに対して活動支援を行っております。このほか、2011年度から名古屋グランパスのクラブパートナーとして活動を支援してきました。2015年東海東京フィナンシャル・ホールディングス誕生15周年を機会に、地域との結びつきをより強固なものにしたいと「地域の方々と夢と感動をわかちあい、強い絆を築いていく」という名古屋グランパスの活動方針に強く賛同し、オフィシャルパートナーに就任しました。

また、中部地区を中心に、さまざまな文化・芸術活動への支援を継続的に行っています。

2008年より毎年末に開催している「ゴールデンライフステージ」は、愛知県内の合唱団・オーケストラが数百名規模で出演、日頃の活動の発表の場としていただいているほか、多くのご来場者に年末の風物詩として楽しんでいただいております。2019年度に名古屋の御園座の「吉例顔見世」、「錦秋御園座歌舞伎」、名古屋市美術館「カラヴァッジョ展」に協賛、中部地域における文化啓蒙活動に積極的に取り組んでいます。また、愛知県における将棋文化の振興を支援するため、2017年度より「名古屋城こども王位戦」、「朝日杯将棋オープン戦」へ協賛を行っております。また、東海東京財団を通じた祭礼行事伝承助成といたしまして、愛知県内に存在する伝統的な祭礼行事および民俗芸能等の保存・伝承、後継者育成活動を行う団体を対象に、用具購入・修繕費および製作材料費の助成を行っています。4年目となる2020年度は9件の応募があり、厳正な選考の結果4件の助成をしました。(2020年度まで累計32件、1,386万円を支援)

5. 環境保全 についての取り組み事例としては、2018年8月、環境省が主催する「グリーンボンド発行促進プラットフォーム」において、グリーンボンド発行支援者として登録されました。グリーンボンドを発行する企業や自治体は、当該登録発行支援者から発行支援を受けることで、通常の債券発行手続きに加えて要する外部コストの負担を軽減することができます。

グリーンボンドの引受・販売を通じて本市場の拡大

に貢献するとともに、事業活動を通じて、環境、社会へ貢献しております。

※グリーンボンドとは

環境問題の解決に貢献する事業に用途を限定した債券で、近年、世界的な環境意識の高まりを背景に発行額が急増しています。

貧困や医療資源の不足、地球温暖化などの世界的な社会問題の解決の一助として、ウォーターボンドやグリーンボンドなどの社会貢献型債券を取扱いしています。当社は株主優待制度(カタログギフト)のメニューの1つに、「株主優待SDGs基金への寄付」を設けています。株主優待SDGs基金は、SDGsの推進に株主優待を活用しようと日本証券業協会が設立したものです。

当社株主優待でこの寄付を選んでいただくと、SDGsを推進する団体(2020年度は、WFP国連世界食糧計画による発展途上国向けの学校給食プログラム)への支援となります。限りある資源を有効に活用、次世代へ残していくために、当社グループでは、環境への負荷軽減に繋がる取り組みをしています。オフィスでの取組み事例として「高効率照明・高効率空調への切り替え」や「パソコン等のOA機器の切り替えによる省電化」を進めているほか、低燃費である軽自動車、ハイブリッドカーへの積極的な入替を行っています(2017年6月に燃料電池(水素)自動車、MIRAIを2台導入)。以上が、当社グループとしての「SDGs」の取り組みになります。ご清聴ありがとうございました。

## 今週のMENU

【洋食料理、お弁当形式】

★桜鯛のポワレと春野菜のベニエ  
オリジナルタルタルソース

・蛤のクラムチャウダー

・ごはん

・デザート

・コーヒー



会長挨拶 和田 了司君



委員会報告 社会奉仕委員会 青山 博徳君



委員会報告 出席委員会 中澤 一君



米山奨学生 願 彬楠様



委員会報告 ニコボックス委員会 岡本 博貴君



卓話 村瀬 昌史君



幹事報告 朽本 正樹君